

## 投資事業評価調書(新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (尾崎 幸忠)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 フタメ川	美方郡温泉町 熊谷		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
美方郡 温泉町 熊谷				H13年度	H16年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、対策ダムを設置して地域住民の人命・財産、小学校及び幼稚園を土石流災害から保全する。	・ダム工 2基 (スリット：H=10.0m, L=61m) (クローズ：H=6.5m, L=33m)

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	・フタメ川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は溪岸、溪床浸食及び荒廃が進んでいるが、砂防設備は未設置である。 ・保全対象：人家=1戸、公共施設=熊谷小学校 災害弱者関連施設=熊谷幼稚園
地域の活性化 快適性・ゆとり	・ダム設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、安心とゆとりある教育の場の提供と生態系の破壊を軽減することができる。
その他	・町及び地元からの事業化への要望が強い。 ・過疎対策法対象町、山村振興指定地域及び豪雪地帯対策特別指定地域に該当するため、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・小学校及び併設する幼稚園(災害弱者関連施設)を保全することから、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・地元からの要望が強く、町等の協力体制づくりもできており、円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 ・スリットタイプを採用することにより、渓流の上下流の連続性を確保し、生態系の保全に努める。
(4)優先性	・土石流の被害想定区域には町立熊谷小学校と熊谷幼稚園(災害弱者関連施設)がある。 ・少子化が進むなか、熊谷小学校、幼稚園に通う子供達を土砂災害から守ることは重要であり、過疎地域でもある熊谷地区としては当該箇所の優先順位が非常に高い。 ・この度、地元の合意形成が図られ、事業執行環境が整ったので事業着手する。

評価の結果	着手妥当	左	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	---	----------------------